

## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋東中学校

【取組内容⑤】 「地域の将来や持続可能性」を検討するために、自ら課題を設定し、GISとGoogle workspaceを活用しながら考察し、構想、表現する授業実践（準備段階①ーA）

## 単元名：地域の在り方

ねらい:様々な世代・立場の人々が暮らし、大きく変化しつつある栗橋において、多くの視点をもとに身近な地域の持続可能性を探り、その在り方について考察、構想し、表現させる。

①地域調査の手法において、地域を地理的に見る視点（土地利用、高低差、交通、人の流れ、地域の変遷）を養う。GISをスムーズに扱う技能を習得することで位置や分布、空間的な規則性や傾向性を可視化し、地域の特徴をつかむことができるようになる技能を習得する。

②地域の在り方を意識して日本の諸地域の学習を進める。その際、GISの活用を通して地理的な見方・考え方が働くような課題に取り組む。生徒自らが主体的にGISに触れ、より実践的な技能を習得していくと共に地域の特徴を地理的につかむ力を養っていく。

そのための準備

## ①地域調査の手法 単元計画

第1時	地形図にや等高線に関する基礎・基本的な知識・技能を習得する。
第2時	地理院地図使用。地域の変遷や他地域との繋がりを確認する。
第3時	フィールドワークに出かけ、地理院地図を調べて気づいた地域の特徴を自分の目で確かめる。
第4時	地理院地図、RESAS、Googleスプレッドシートを活用し、地域の特徴を複数の視点（人口、交通、時代ごとの変化、産業）をもとに、考察する。

RESASのマニュアル



地理院地図のマニュアル

